取扱説明書

OBD12-RD
OBD12-M

6SS1479-B

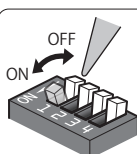
① アダプターの設定

⚠注意

⚠ スイッチの操作は、ボールペンまたは小形ドライバの先など、丸みのあるものをご使用ください。ピンセットなど先端の鋭利なものによる操作は、操作部に傷をつけて操作ができなくなったり、接点部の接触に支障をきたす恐れがあります。
また、シャープペンシルでの操作はしないでください。芯の粉や欠片がスイッチの動作を阻害する、スイッチ内部に入り込んで接触に支障をきたす、あるいは基板上に落下してパターンの短絡や絶縁等トラブルの原因になります。

大きな力で無理な操作はしないでください。操作部の破損や変形により故障の原因となります。

●OBDⅡアダプターのディップスイッチで、各自動車メーカー用の設定を行ってください。

※ディップスイッチを初期設定のまま使用した場合、接続している弊社製品の電源がONになり、数分でOFFになりますが異常ではありません。

② 接続のしかた

⚠警告

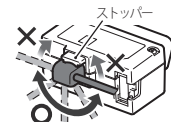
- 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。
- 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。
- 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
- エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。
万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。
また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

⚠注意

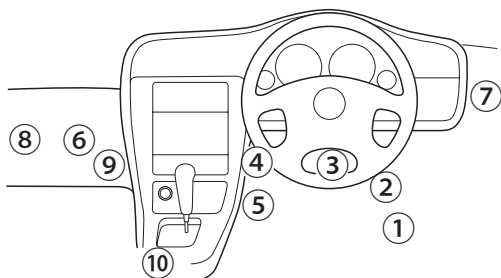
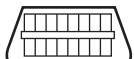
- 取り付けは確実に行ってください。本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- 突起部分などでケガをする恐れがありますので、取り付けや取り外しの際はご注意ください。
- OBDⅡアダプターを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。電源ケーブルに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずOBDⅡアダプターの本体部分を持って抜いてください。
- お手入れの際は、OBDⅡアダプターを抜いてください。感電の原因となります。

●次の③で確認するOBDⅡコネクターにOBDⅡアダプターを差し込み、本機DCジャックにDCプラグを差し込んでください。

※図は、OBD12-RDです。

株式会社ユピテル
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

③ 接続位置の確認と接続

初めてOBDⅡアダプターを車両に取り付ける場合は、レーダー探知機の起動に数分かかることがあります。

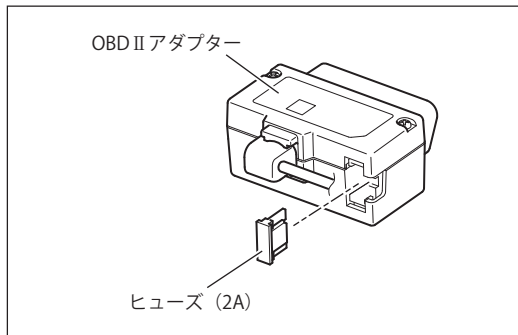
●車両によってOBDⅡコネクターの位置が変わりますので、下記の10か所を確認し、接続してください。

①：アクセルペダル脇
②：運転席足元右側（蓋付の場合有り）
③：運転席足元中央
④：運転席足元左側（蓋付の場合有り）
⑤：センターコンソール右脇
⑥：助手席足元右側
⑦：ステアリング右脇パネル裏側（蓋付）
⑧：助手席足元左側
⑨：センターコンソール左脇
⑩：センターコンソール下

OBDⅡコネクター

※同形状のコネクターに挿し込んでください。

※ 車両により、カバーを外さないとOBDⅡアダプターを取り付けできない場合があります。

ヒューズの交換

●本体の電源が入らないときは、下記のことを確認してください。

1. 接続コード類がはずれていないか
2. アダプター内のヒューズが切れていないか

●図のようにヒューズを外し、元に戻すときは、逆の手順で取り付けてください。

※弊社製品を取り付けたことによる車両や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。